

季刊

Midorino
Rehabilitation
Hospital



みどり野

vol.
35



CONTENTS

- 2P・3P 新年のご挨拶
- 4P 通所リハビリテーション開設
- 5P 行事食 お正月編/1月お楽しみランチ
- 6P 第12回 やまとウォーキンピックに参加して
- 7P マルちゃんの独り言^⑩
- 8P 医療連携室
 - 病院までのアクセス



医療法人社団 銀緑会

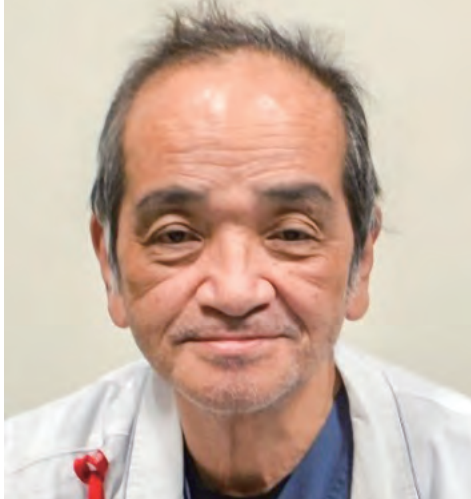
みどり野リハビリテーション病院

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間2丁目6-17

<http://www.midorino-hp.jp>

撮影者：総務課 古賀 大樹

新年のご挨拶



院長
大山 治

明けましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。
本年も宜しくお願い致します。
思い返せば、当院もコロナ感染症に幾度となく振り回されてまいりましたがこの困難に対して職員のひたむきな尽力に支えられて乗り越えることができました。今後も困難な場面があるかもしれませんが諸君が一致団結し患者様へ高い知識、技術と患者様に寄り添ったりハビリテーション医療を提供させていただきたいと思っています。

新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

COVID-19の蔓延が続くなか、日常の常識が変化し続けています。その中で変わらない患者さんを守るという職員の責任感と日々の感染対策を根気強く継続する力に病院は支えられています。

今年の干支は「癸卯」です。癸(みずのと)は大地を潤す恵みの水を表し、十干の最後にあたることから物事の「終わり始まり」、「卯(う)」飛躍するという意味があります。このことから癸卯は「これまでの努力が実を結び、勢いよく飛躍する」年だとされています。

今までの学びや経験から患者さん・ご家族の思いを大切にしたいより良い看護・ケアの提供に努め、実りと喜びの多い年にしていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



看護部長
大西 早苗

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、大変お世話になりました。本年も宜しくお願い申し上げます。

当院は昨年6月より短時間リハビリ特化型の通所リハビリステーション(デイケア)をスタート致しました。当院の方針である退院から在宅生活までシームレスに繋ぎ、ご自宅に帰られてからの生活へ支援できるよう外来リハ(医療)、訪問リハ(介護)、通所リハ(介護)と在宅部門の充実を図っております。

今後とも回復期リハビリテーションを中心に、地域医療への貢献など職員一同精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



リハビリテーション科 課長
阿座上 広希



事務長代行
原田 拓也

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた一年となりました。皆様には、多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

本年も引き続き感染対策を行い、患者様に寄り添ったリハビリテーションをご提供し、地域に根差した回復期リハビリテーション病院として努力していく所存です。

ご指導鞭のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

通所リハビリテーション開設



リハビリテーション科
課長:阿座上 広希

令和3年6月から通所リハビリテーションを開設しました!!
当院では退院支援として外来リハビリテーション・訪問リハビリテーションを強化しておりました。
「もっと活動的に!!」をモットーに午前1回、午後1回当院理学療法室にて実施しています!!
有難いことに現在、約100名の方々に利用していただいています!!



通所リハビリテーションの様子



開設当初は利用してくれる方々がいるか不安でしたが・・・
大きな声と明るく運動することで地域の方々を元気にしていきたいという思いを忘れずに実施してきました。
利用してくれる方々も増えてきており、運動能力だけでなく笑顔も増え、利用者様たちでの交流もしているようです!!
理学療法室は当院正面入ってすぐ左に位置していますので一度見学にきてください!!



通所リハビリ
責任者:田澤 繁之

行事食 お正月編



献立メニュー

- ◆ 赤飯
- ◆ おせち盛り合わせ
- ◆ 筑前煮
- ◆ お吸い物



なますにいくらを添えるなど、色合いが寂しくならないように工夫しました。患者様からは、「華やかで、お正月気分を味わうことができました」と喜ばれました。

～1月お楽しみランチ～



献立メニュー

- ◆ ご飯
- ◆ 刺身盛り合わせ
- ◆ 味噌汁
- ◆ ようかん



1年に1度のお刺身ランチ。
患者様からは「病院でお刺身が食べられるなんて嬉しい!」と喜ばれました。

第12回 やまとウォーキングに参加して



大和市では「健康都市やまと」を宣言しており、市民の健康づくりを進めるため様々な取り組みを行っています。

昨年10月に行われた第12回やまとウォーキングに10チーム64名で職場の部に参加しました。そのうち、みどり野地域支援班が市制記念特別賞を受賞し、大和市文化創造拠点シリウスにて開催された表彰式で大和市長より賞状と記念品をいただきました。また、8チームは努力賞として岡山県総社市の名物である総社カレーをいただきました。

第8回から参加をしていますが回を重ねるごとに参加者が増え参加者からは、イベントに参加したことで日頃の歩数(活動量)を確認することができ、生活を見直すきっかけになった。職場の部で参加したため共通の話題を持つことができ、会話が楽しかった。などの意見がありました。

今後も、このような機会があれば参加し職場の部で1位を目指したいと思います。



リハビリ科 長内 祥太郎
栄養科 松竹 啓子

マルちゃんの独り言



ぶどう棚

NHK BSプレミアムで放送されている俳優の火野正平さんが各地を「チャリオ君(自転車)」で巡る番組(日本縦断 ころろ旅)で、葡萄園を訪れている動画が、流されていました。

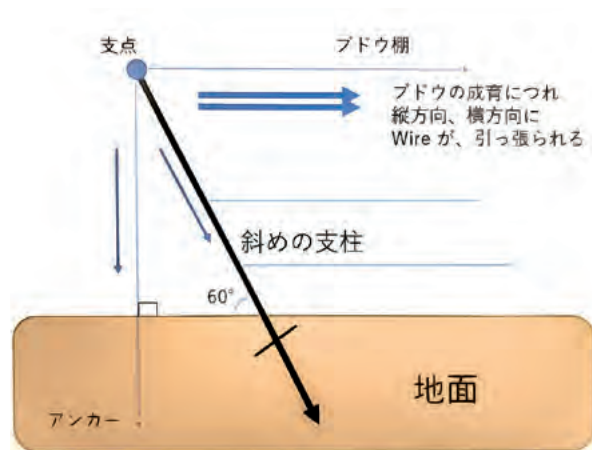
その時の画像に葡萄園の前を歩く火野さんが、映っていました。前から気になっていたのですが、葡萄棚の一番外側の柵は、何故、全周斜めになっているのかと。1本位なら、たまたま斜めになってしまったと、思いますが……。調べてみると、よくわかりました。

多くの葡萄棚は、葡萄の枝を、横に這わせて、育てています。横に這わせて育てるには、その枝を支える受け皿が、必要です。柵を立て、柵の間に、枝を支えるワイヤーを縦横に張ります。

葡萄の樹木が、大きくなれば、その重量も増えます。柵の外周の柵を、垂直に立てると、葡萄に木の重みで、柵が内側に倒れてしまうそうです。

そこで、あえて外周にある柵を、画像にあるように傾斜をつけて、造るのだそうです。図の様に、立てると、葡萄の重量にも耐えられるそうです。

疑問が、一つ解けました。



医療連携室

医療連携室では、現在8名体制(看護師1名、ソーシャルワーカー7名)で患者様のサポートをさせていただいております。

患者様やご家族様より入退院に関わるご相談をお伺いし、解決に向けてお手伝いいたします。

ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



相談窓口／1階受付

受付時間／9:00～17:00(月曜日～土曜日)

みどり野リハビリテーション病院 医療連携室
(代表) TEL 046-271-1221 FAX 046-271-1220



2022年9月1日 宇都宮市東今泉へと新築移転し、第2宇都宮リハビリテーション病院から

「新宇都宮リハビリテーション病院」

として生まれ変わりました。

2022年9月1日開院

〒321-0941 栃木県宇都宮市東今泉2丁目5番31号
電話番号:028-666-4880 (病院代表)

カマテグループ 一般社団法人 巨樹の会
新宇都宮リハビリテーション病院



みどり野リハビリテーション病院 広報誌

季刊みどり野 vol. 35

企画発行

みどり野リハビリテーション病院
広報委員会

〒242-0007
神奈川県大和市中央林間2丁目6-17
TEL 046-271-1221 (代表)
FAX 046-271-1220



ホームページはココ